

山崎 晶弘 〔常任理事・組織部長〕 岡山医療生協



岡山市医療生協（現岡山医療生協）の設立総会は、1952年（昭和27年）8月に行われました。その時の組合員は306人、出資金10万円（1口300円）でした。ただし出資金は、分割払い込みの関係で、この時までには払い込まれたのは18,000円余りにすぎませんでした。

1957年までに4診療所 岡山大衆診療所、花畑診療所（新京橋）、北診療所（宿）、南診療所（平井）を展開し、医療活動は地域の労働者、とくに全日自労の労働者を中心に広がりました。労働者の働いている作業現場への出張診療、青空診療なども行いました。岡山駅西地域を中心に中小企業の鉄工所、マッチ工場、ゴム工場などにも出張診療したり集団検診にあたりました。

山崎 晶弘 氏

1954年10月生まれ。
岡山医療生協常任理事・組織部長。
1977年医療生協入職。
2009年岡山医療生協常任理事。
（財）おかやま環境ネットワーク理事。

診療所は夜間・日祭日の診療など、働くひとびとには大変喜ばれました。こうして、次第に働く人や貧しい人たちの医療センターとしての基礎がつくられていきました。

1954年（昭和29年）の第3回総会では、日本生活協同組合連合会、岡山県消費生活協同組合（現県生協連）に加盟することを決定しました。この当時、社会保障闘争の中で歴史に残る「朝日訴訟」やポリオ生ワクチン輸入運動、健保改悪反対運動が大きく盛り上がり、岡山医療生協の職員・組合員は大きな力を発揮しました。

1980年代には、センター病院である岡山協立病院が市内8番目の総合病院となり、旭川以東の医療機関として地域医療を担う役割を果たしてきました。また、組合員活動では、地域に支部づくりが始まり、保健活動・健康づくりを進める運動が大きく進み始めました。

現在、岡山医療生協は、2病院、4診療所（設立当時とは別の配置）、8介護事業所、1保育園を運営しています。また地域では、8ブロック42支部が健康づくり・まちづくりの活動を進め、医療生協

の健康習慣の定着をすすめています。さらに、平和環境を守るとりくみを位置づけ、戦争に反対し核兵器を世界からなくす運動、エコリーダー養成講座やエコ月間などにも力を注いでいます。平和で安心してくらす環境でなければ健康は守れません。元気で安心して暮らせるまちづくりを進める方々と力を合わせていきたいと思っています。

医療生協の健康習慣

8つの生活習慣

- (1) 生活リズムを整え快適な睡眠をとる
- (2) 心身の疲労を避け、十分な休養をとる
- (3) 禁煙にとりくむ
- (4) 過度の飲酒をしない
- (5) 適度な運動を定期的につづける
- (6) 低塩分、低脂肪のバランスのよい食事をとる
- (7) 間食せず、朝食をとる規則正しい食生活
- (8) 1日1回以上よごれを落としかる歯みがきをする

2つの健康指標

- (1) 適正体重、適正体脂肪、適正腹囲を維持する
- (2) 適正な血圧をめざす